

総合計画「いきいき 福島創造プラン」の見直しについて

1 主 旨

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震と津波は本県に甚大な被害をもたらした。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故は未だ収束しておらず、多くの県民が県内外への避難を余儀なくされている。

この未曾有の大災害により本県を取り巻く情勢が大きく変化したことから、総合計画「いきいき 福島創造プラン」については、現状を踏まえながら全体的な見直しを行う必要が生じているものと考えられる。

しかしながら、原発事故がまだ収束していない中、被害状況とともに総合計画への影響についても把握できていない状況にある。このような中でも、本県の復旧・復興は喫緊の課題であることから、去る8月11日に「福島県復興ビジョン」を決定した。復興ビジョンにおいては、今回の原子力災害を踏まえて、「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」の基本理念を打ち出したところである。

当面は、復興ビジョンに掲げた「原子力に依存しない」社会を目指すという方向性との整合を図る観点から、電源立地地域の将来像や基本方向について緊急に見直しを行うこととする。

なお、今回の見直しの後、改めて全体的な見直しを進めることとする。

2 見直しの時期

復興ビジョンを踏まえて策定する復興計画との整合性を図る観点から、計画決定の時期と合わせて平成23年12月とする。

総合計画は、議会の議決を必要とすることから、12月議会への提案を目指すこととする。

3 平成23年度のスケジュール

資料3のとおり。